FACTBOOK

シャンティ国際ボランティア会 ファクトブック





SVA FACTBOOK

目次

シャンティとは	2
シャンティのあゆみ	3
活動地域	4
支援の特色	5
活動内容	6
緊急人道支援	7
シャンティの成果と受賞歴	8
BOOKS FOR ALLプロジェクト	9
組織概要	10
スポークスパーソン紹介	11
イベント、講演会実施事例	12
シャンティとSDGs	13
提供可能な広報素材	14

お問合せ



公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2、3 階

代表電話:03-5360-1233

メールアドレス(広報・リレーションズ課代表): pr@sva.or.jp

担当:鈴木・平島

www.sva.or.jp

シャンティとは



シャンティは、1981年からアジアを中心に活動する、日本生まれのNGOです。こどもたちへの本を通じた教育文化支援、国内外の災害や紛争後の緊急人道支援に取り組んでいます。すべての子どもたちに教育の機会を届けるため、地域の文化や対話を大切にしながら、総合的な学びの場をつくっています。

◆シャンティが目指すもの

「共に生き、共に学ぶ」平和な社会を目指して

シャンティが目指すのは「ちがい」を「多様性」ととらえ、 互いに認め合い、対話を通して 可能性を見つけることができる社会です。

それは、一人ひとりが心の平和を持つことからはじまります。

心の平和とは、自分自身が大切な存在であると気づくこと。 大切にしている考え方や生き方をもてること。 生まれてきた場所や受け継ぐ文化、言葉に誇りをもてること。 課題が複雑に絡み合う社会の中でも、 自分らしく生きる選択ができること。

シャンティは教育によって、すべての子どもたちが心の平和と生きる力を育むことができると考えています。



◆本から生まれる可能性

読み書きができない人は7億7,300万人。 紛争、災害、貧困などが原因で学校に通えない子どもたちの学ぶ機会は奪われています。

シャンティは、子どもたちがどのような環境下でも学ぶことができるよう、教育の機会を届けています。本には自ら考え、希望を与える力があります。









シャンティのあゆみ

1980年にカンボジア難民の緊急救援活動として、曹洞宗東南アジア難民救済会議(JSRC)が設立されました。1981年の緊急救援活動プロジェクトの終了にあたり、JSRCのボランティアの有志が、シャンティを立ち上げました。1981年の創立以来、「共に生き、共に学ぶ」ことのできる平和な社会を目指し、課題と向き合い続け、2022年で41年目となりました。

◆シャンティのあゆみ

1980前身の曹洞宗東南アジア難民救済会議 (JSRC) 設立1981曹洞宗ボランティア会 (SVA) 結成

1991カンボジア事務所開設1992ラオス事務所開設

1995 阪神・淡路大震災を受け緊急救援を開始

2003 アフガニスタン事務所開設

2011 東日本大震災復興支援活動を開始

2014 ミャンマー事務所開設

2016 ネパール事務所開設

2019 ミャンマー国境支援事業事務所開設、曹洞宗と相互協力協約書締結

2020 日本国内事業を開始

2021 設立40周年



カンボジア難民キャンプ (カオイダンキャンプ) の図書館



アフガニスタン プラスターに従事する作業員

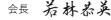
◆代表挨拶



我々の活動理念は「共に生き、共に学ぶ」です。

まず「共に生きる」ということについて、国・地域・民族・男女の違いを超えて、同じ生命としてお互いを認め合い、シャンティ(平和)な社会を構築してゆこうとするものです。 どこに生まれようと、生命には意味があります。その意味というのは「共に学ぶ」ことによって意義づけることができるのです。大切なことは、どのように学べるかということだと思います。

つまり、教育にアクセスできるか否かによって、人の生き方が大きく変わります。少しでもそのチャンスをつかみ、たぐり寄せることができれば、様々な可能性が訪れ、なおかつ主体的にそれを選び取ることができる。シャンティは、教育支援という種まきを継続していくことが、平和への道だと信じています。





貧困、紛争や災害は、子どもたちから子どもでいられる時間を奪い取ります。今世界では、教育を受けられない子どもが初等教育レベルで6100万人いるといわれています。また、紛争などで住む場所を追われ、難民や避難民生活といった不安定な生活下で暮らしている人々、子どもたちは、およそ7000万人におよびます。

現代における複雑な課題解決は、シャンティだけでは容易に成し得ません。シャンティは、これからもより困難な状況にいる人々に寄り添い、生きる上で必要な力を育むことができる教育の機会の推進に力を入れてまいります。

ご支援くださる皆様一人一人の思いを受け止めながら、シャンティの活動を支える市民の皆様との活動連携に加え、これまで以上に同じ目標を持つ様々なアクターの方々、専門機関の方々との連携を強化し、ともに取り組む仲間を作っていきたいと考えています。

事務局長 しょう

SVA FACTBOOK | 3

活動地域

専門性を持った職員が活動地に滞在し、継続的な支援を行います。 現地の人々と共に、学びの文化を育てています。



◆日本での活動



絵本を届ける運動

Campaign to Deliver Picture Books

「**絵本を届ける運動** は、子どもの本が足りない地域に、日本の絵本に翻 訳シールを貼り付け、子どもたちが母語で読める絵本となったものを届けま

絵本を届ける先はカンボジア、ラオス、ミャンマー、ミャンマー(ビルマ) 難民キャンプ、アフガニスタン、タイ。手軽に参加することのできる国際協 力として、多くの方に長年親しまれ、1999年から35万冊を超える絵本を送り 出しました。日本では約30万人が活動に参加しました。

CRAFT



クラフトエイドは、子どもの学用品や制服を買うために、家事や畑仕事の 合間にアジアの女性たちが、それぞれの民族の特長を活かして手仕事でつ くったアイテムを展開するシャンティのフェアトレード事業です。1985年に タイ東北部のラオス難民キャンプ内で作られた手工芸品を日本で紹介したこ とから始まりました。

タイ、カンボジア、ラオス、アフガニスタンの生産者たちが、それぞれの伝 統技術を活かして手作りした製品を日本で販売しています。

購入することで生産者の経済的自立を手助けできる「お買いものでできる国 際協力」です。



外国ルーツの子どもの居場所づくり事業(東京都豊島区)

生活・法的支援による包括的生活安定支援(東京都豊島区)

シャンティはこれまで培ってきた海外の経験をいかして、多様化する日本 国内の課題に取り組んでいます。多様なルーツを持つ人々が増えていく日 本において、どのような人も、ありのままに安心して暮らしていける多文 化共生社会を目指します。 SVA FACTBOOK | 4

支援の特色



子どもが学校に通うことは、当たり前の状態ではありません。学校建設や図書館運営など、子どもが安心して学べる「場所づくり」。学校教育や図書館員などの「人」の育成。文字を学ぶことができる「本」を提供。この4軸が揃って、初めて本に触れる瞬間が生まれます。

◆支援の特色

本を通じた教育文化事業

私たちが目指すのは本に触れる文化づくりと、教育の質の向上です。

そのためには「学ぶための本や教材」、「学びを届ける人」、「安心して学べる場所」、 そして「学びと出会うための活動」が欠かせません。

現地の行政や住民と一体となり、継続した教育文化事業を行っています。



活動内容



家庭の貧しさにより、子どもが働かなければいけない環境。 読み書きができないために、良い仕事に就くことができない。 長時間労働に従事させられ、学校に行くことができない。こ のような負の連鎖を断ち切るため、活動を続けています。

◆子どもたちに学ぶ環境を

カンボジアでのプロジェクト例

絵本出版・紙芝居出版

2021年末までに129タイトル37万冊の絵本、44タイトル3,500部の紙芝居出版を行いました。(2016年終了)2021年末までに、**日本から絵本を17万冊以上**届けました。



研修会、教員や図書館員指導

1993年から、学校や州教育局の要請により教員を対象とした研修会を実施しています。研修会にはのべ2万人を超える教員、図書館員が参加しました。

また、活動が対象地域に定着する ために州教育局の職員の育成も 行っています。

2008年からはカンボジア教育省の職員の育成も行い、カンボジア全土の小学校で適用となる、図書館ガイドラインを協働作成しました。点から面へ活動を広げる取り組みとなっています。



「学びを届ける人」の育成

教員や図書館員がそれぞれ工夫 した読み聞かせを披露する全国 おはなし大会を1995年から毎年 開催し、約2,600人が参加しま した。





学校建設・図書館建設

1991年に国境帰還難民及び国内避難民の定住促進のため、スタートした学校建設事業。州教育局と協力し学校建設地の選定を行います。

子どもたちが楽しく学び、未来に夢を持てる学校にするため、地域の人が計画から盛土作業などのプロセスに関わる「住民参加型」の学校建設を行っています。

2021年末までに280校の学校を 建設しました。





図書館活動を中心とした コミュニティラーニングセンター(CLC)事業

子どもからおとなまでが集い、学べる生涯学習の拠点としてコミュニティ図書館(CLC)を設立し、図書館活動を中心に、日常的に本や文字に触れる機会を提供することで識字の向上を図っています。

また、住民のニーズに合わせ、識字教室の実施、生活向上 のための農業や衛生研修を開催しスポーツや文化活動にも 力を入れています。

公立幼稚園における 幼児教育の質改善事業

シャンティが取り組んできた学校図書館活動の経験を活かし、**子どもたちが「楽しく、遊びや経験を通して学ぶ」 幼稚園づくりを目指した教員研修**を行っています。



緊急人道支援

人々の尊厳を尊重し1日でも早く日常生活を取り戻せるよう、迅速 かつニーズに合った支援を行っています。

特に、どのような状況であっても子どもたちの学びの権利と機会 を守る「緊急下の教育」、危機的状況の中で傷ついた子どもたち の心を癒す図書館活動を通した子どもの居場所を推進しています。

◆緊急救援活動

復興、防災・減災支援

発災直後は当面の生活を過ごすために必要な食料、 調理器具などの生活物資を配布します。 また、長期の避難生活などにおいても、シャン ティは基本的人権を守るための最低基準を定めた 国際基準(スフィアスタンダード)に則った活動 を行っています。



Humanitarian Charter and Minimum Standards in Humanitarian Response

An international network for education in emergencies

緊急人道支援の国際基準

世界各国の政府や国連機関などの幅広い組 織・機関により作成された、緊急時の人道支 援において最低限保証されるべき活動基準。 基本的人権を守るために食料や衛生の最低基 準が定められており、教育もその一項目に該 当する。

(*1) Sphere Project | Humanitarian Charter and Minimum Standards in Disaster Response 日本語版 スフィアハンドブック2011 https://www.refugee.or.jp/sphere/The Sphere Project Handbook 2011 J.

Inter-Agency Network for Education in Emergencies (INEE) (緊急時の教育のための最低基準) 2010 一準 備・対応・復興一 (お茶の水女子大学国際協力論ゼミ 訳)

http://toolkit.ineesite.org/toolkit/INEEcms/uploads/1012/INEE%20MS%2 OJapanese 2010.pdf

◆プロジェクトの紹介

緊急支援物資を迅速に配布

活動例:

インドネ<u>シア・スラウェシ島地震</u> 2018年9月28日にインドネシア、中ス ラウェシ州のドンガラ市北東約27km で発生したマグニチュード7.5の地震 の緊急救援活動を行っています。

現 地 調 査

聞 き 地に入り調査 取 IJ 調 査 現地NGO. き取 りと連携を実施

物資 要な物資の選定 資の配布 の 配

などニー 女 性 支

教育支援、 ズに沿って活動 女性の生計支援



現地調査を実施

現地調査を通して、発災当時の状 況や支援から取り残されている 人々の苦境を明らかにします。 一時、交通や通信が停止していた 震源地ドンガラと、震源地から離 れているけれど地盤が弱いシギと いう地域での家屋の全壊といった 深刻な被害が出ているものの、あ まり報道されず、支援も届いてい ない状況でした。



聞き取り調査の実施

現地調査とともに、聞き取り調査も 丁寧に行い、それぞれが抱えている 悩みや課題を聞き、現地パートナー NGOとともに支援を行っていきます。



支援物資の配布

11月5日に、州都パルから北へ110キ 口 (片道3~4時間) の震源地に近 いドンガラのワランダノ村とロボン ガ村に向かい、物資を届けました。 11月6日には同じくドンガラの震源地 に近く、郡全体の半分の建物が倒壊 したと言われているシレンジャ郡で 物資配布を行いました。11月10日と 11日には、シギにあるバンガ村、バ ルベテ村、ラランパデンデ村で物資 配布を行いました。 SVA FACTBOOK | 7

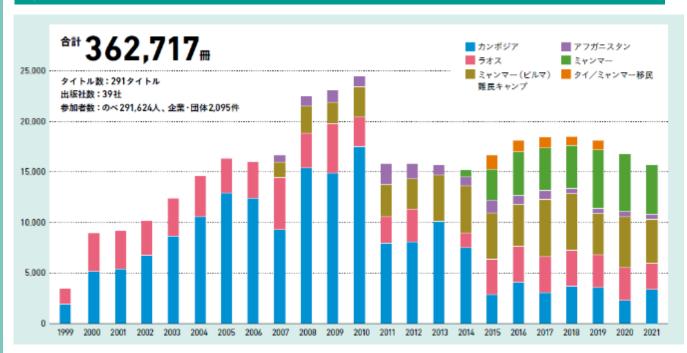


シャンティの成果と受賞歴

1981年の創立以来、「共に生き、共に学ぶ」ことのできる平和な社会を目指し課題と向き合ってきました。現地と共に積み上げてきた実績は、ゆっくりと確実に広がっています。

絵本を届ける運動は2019年に20年を迎え、毎年400以上の企業・団体、1,500人以上の個人が参加する、シャンティの基幹事業のひとつです。

◆これまでに届けた絵本



◆成果、受賞歴

実器1 学ぶための本や活動

	13,002#	302,717#
届けた絵本	15 492-	362,717
総本・観光展 出版	3 section	647 2114
-	2021年度	15月

212,247、1,623万人



実装2 学びを届ける人

9	2021年度	通算
STRRIVE	104m/	778 m/
	3,705.	42,384



(実施) 安心して学べる場所

	2021年度	選択
PRES	3≈	429m
New-Ne	13 ± ±	1,016 ± ⋅ ±



実施4 緊急人道支援

	2021年度	透算
製造表現 日前日的	5⊯	81 _m
	-海外4回	·海州51周
	-国内1回	- 関内30回



国内における主な受賞歴

正力松太郎賞(1984年)

ソロプチミスト日本財団賞(1985年)

外務大臣賞(1988年)

毎日国際交流賞(1994年)

東京都豊島区感謝状(1995年)

防災担当大臣賞(2004年)

兵庫県知事感謝状(2005年)

第七回井植記念「アジア太平洋文化賞」(2008年)

宮城県社会福祉協議会感謝状(2011年)

ESD岡山アワードグローバル賞(2015年)

スポーツ庁長官感謝状(2019年)

第14回かめのり賞 特別賞(2020年)

第28回読売国際協力賞(2021年)

第25回地球倫理推進賞(2021年)

文部科学大臣賞(2021年)

BOOKS FOR ALL~本がひらく未来~



私たちは活動を積み重ねる中で、国や時を越えても変わらない本の力を 経験してきました。シャンティは子どもたちの成長において、本の力が 欠かせないと考えています。1998年に国連で採択された「子どもの権利 条約」においても、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参 加する権利」を保証すると明記されており、シャンティは図書館が子ど もの権利を保障する場のひとつであると考えています。

◆未来を切り拓いたストーリー

スラム出身の私でも、世界を舞台に道は開ける

オラタイ・プーブンラープ・グナシーランさん(タイ/タイ大使館 一等書記官)



私が図書館で絵本と出合ったのは4歳の頃でした。図書館は偶然にも、スラムの私 の家の隣に建てられました。昼間は学校、夜はお店や家事の手伝いがあり、睡眠時 間も5時間取れるか、取れないかの大変忙しい毎日でした。その合間に訪れる図書 館が私の心のよりどころになりました。

毎日、図書館に行くのが楽しみで、当時約1万冊あった絵本、小説、参考書などは すべて、端から読みきってしまいました。特に夢中になったのは旅行記でした。自 分もいつかこのスラムを抜け出して、まだ見ぬ世界を見てみたいと強く、夢みるよ うになりました。

その後、中学、高校時代にシャンティの奨学金を受け、高校2年生でアメリカへ留 学しました。高校3年生の時には、フランス語のスピーチコンテストで優勝するこ ともできたんです。高校卒業後は、タイの名門といわれる国立チュラロンコン大学 文学部に主席に近い成績で合格を果たしました。そして、大学1年生の時に、倍率 約100倍のタイ政府の外交官養成試験に合格したのです。

現在、私は在モスクワのタイ大使館に勤務する一等書記官です。得意の英語、フラ ンス語、ロシア語を生かして、将来、アメリカやオーストラリア、または日本で外 交官の仕事をしていけたらいいなと思っています。専門であるロシアと各国を比較 してみたいとも思っています。



本の力が私に夢を与えてくれました

スニター・ピンマソンさん(ラオス/国営テレビ局アナウンサー、ニュースキャスター)



小学5年生の時に初めて「子どもの家」を訪れました。「子どもの家」にある図書 館の本は、家に持ち帰れるし、友だちもできたし、楽しい行事がたくさんありまし た。そんな図書館の魅力に引かれ、足しげく通う私が、もっとも心引ひかれたのは、 図書館の先生による読み聞かせでした。やがて自分自身が読み聞かせをするように なり、本を読む力だけでなく、話をする力も身に付いていきました。

図書館は本を読めるだけでなく、さまざまな行事や活動など、人々の生活をよりよ い方向に変える、子どもの才能を掘り起こすものがたくさんそろっています。アナ ウンサー、レポーターそしてラジオのDJにさえなれると私に教えてくれたのは、ほ かでもない図書館でした。

現在、私はラオスの国営テレビ局のアナウンサーとしてニュース原稿を読んだ り、子ども番組の司会などをしています。テレビキャスターの仕事だけでなく、 DJとして10代の若者たちにメッセージを届けたり、ラオスの伝統料理を紹介 する番組のレポーターの仕事も精力的にこなしています。

テレビの仕事もやりたいけど、本当にやりたいことは、子どもや青少年に関わ る仕事なんです。だから一番の夢は、「子どもの家」の所長になることなんで



協力企業









































動競技会

シャンティは、1981年にタイ国内のカンボジア難民キャンプでの支援活動を開始して以来、41年目を迎えました。 アジアの子どもたちへの教育支援や緊急救援支援に取り組み、 現在ではアジア7カ国・8地域に活動が広がっています。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 名称 Shanti Volunteer Association 設立年月 1981年12月10日 〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3階 事務所 TEL: 03-5360-1233 (代表) FAX: 03-5360-1220 会長/若林 恭英 代表者 131人(国内採用職員42人、現地採用職員89人) 職員数 ※2022年4月1日時点 事業内容 図書館事業/学校建設事業/緊急救援 外務省「日本NGO連携無償資金協力」、国際協力機構(JICA)「草の根

技術協力事業」、ジャパン・プラットフォーム(JPF)

文部科学省、公益社団法人日本図書館協会、公益社団法人読書推進運



2013年3月、NGOがアカウン タビリティの状態を自己診断 する「アカウンタビリティ・ セルフチェック2012」を実施 し、「アカウンタビリティ・ セルフチェック2012」の認証 マークを取得しました。



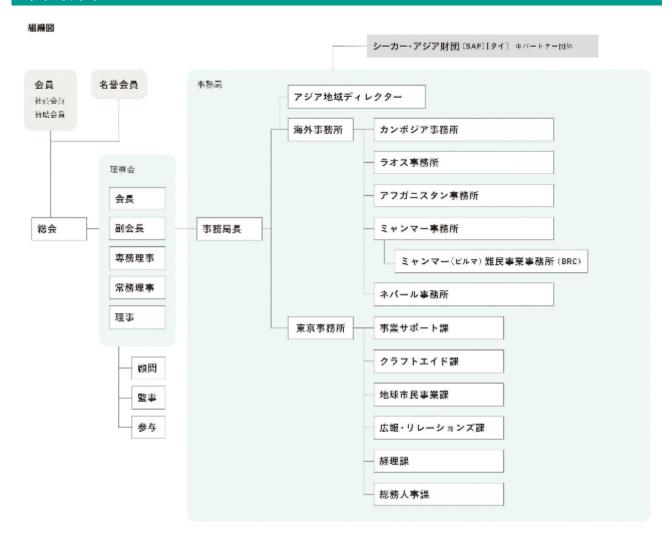
税制上の特定公益増進法人に 該当し、当会への寄附・募金 につきましては税制上の優遇 措置(寄附金控除)が受けら れます。

公益社団法人シャンティ国際ボランティア 会は、当会監事による監査および田中義幸 公認会計士事務所による財務諸表の外部監 査を受けております。

◆組織図

事業連携

後援



スポークスパーソン紹介

本の力を、生きる力に。

各テーマに関する専門的知識を持ったスタッフが各事業を担当し、 活動を推進しています。

◆岡本和幸(おかもと わこう)

専務理事(千葉県・真光寺住職)

四谷東長寺にて都市寺院のあり方を模索し、千葉県真光寺では樹木葬墓苑開設、上総自然学校を主催、川原井の里山里田を守る会を作り地域おこしに挑戦中。2017年4月より現職。



◆山本英里(やまもと えり)

事務局長 兼 アフガニスタン事務所 所長

2001年にインターンとしてタイ事務所に参加。2002年、ユニセフに出向しアフガニスタンで教育復興事業に従事。2003年より、シャンティのアフガニスタン、パキスタン、ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ、カンボジア、ネパールでの教育支援、緊急救援に携わる。アジア南太平洋基礎・成人教育協議会(ASPBAE)理事。2019年7月より現職。

著書「わたしは10歳、本を知らずに育ったの。アジアの子どもたちに届けられた27万冊の本」(合同出版社、2017)



◆菊池礼乃(きくち あやの)



事業サポート課 課長

大学時代から教育分野、人権分野での国際協力に関心を持ち、様々なNGOでのボランティア活動を経験した。2009年にタイ・ミャンマー(ビルマ)国境を訪問したことをきっかけに、難民問題に関心を持ち始める。2011年3月に入職し、ミャンマー(ビルマ)難民事業事務所 プロジェクトマネージャーとして難民支援に携わる。帰国後、2018年10月より現職。

◆鈴木晶子(すずき あきこ)



広報・リレーションズ課 課長

2005年緊急救援室に入職。国内外の災害支援に従事。 2007年よりカンボジア事務所駐在。100をこえる小学校の図書室を整備。2010年よりタイ国境ミャンマー

(ビルマ)難民キャンプの図書館事業に携わる。2015年より現職。 著書「わたしは10歳、本を知らずに育ったの。アジアの子どもたちに届けられた27万冊の本」(合同出版社、2017)



イベント、講演会実施事例

シャンティでは、翻訳絵本作りを行いワークショップや、アジア の子どもたちを取り巻く環境について紹介する講演会など、様々 なイベントを年間を通じて実施しています。

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、オンラインでの実施 も対応しております。

◆絵本を届ける運動ワークショップ



「絵本を届ける運動」は、誰でも気軽に参加できる、国際協力の方法です。

みなさんの職場や、イベント内での実施が可能です。夏休みには、 「ボランティア参加証明」をお渡しする親子向け、中高生向けの ワークショップも実施しています。

【内容例】

- ・アジアの子どもたちの暮らしについて紹介
- ・「絵本を届ける運動」について紹介
- ・翻訳絵本作り

※最少催行人数:5人~

※所要時間:90分~120分程度



絵本を届ける運動 Campaign to Deliver Picture Books

◆講演会



国際協力のプロフェッショナルであるシャンティの職員が、 それぞれのテーマで講演会に登壇しています。

【テーマ例】

「絵本を手にした子どもたちの今〜絵本を届けてきた20年〜」 「難民を受け入れる社会とは」

「教育支援現場を見続けて38年~アジアのこれまでと未来を語る」 「学ぶ力が、生きる力に」

◆その他イベント実施例

「絵本を届ける運動」20周年記念「一日限定アジアフェスティバル」



アフガニスタン事務所職員来日イベント 「絵本と図書館がアフガニスタンの教育に もたらした希望の光」



クラフトエイド 期間限定POP UP SHOP開催







シャンティとSDGs

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals) は、2015年国連総会で採択された「持続可能な開発」を達成する ための行動指針です。

環境、社会、経済が持続可能であるべき3つの柱となっています。

◆シャンティとSDGs

シャンティは1981年の設立から一貫して、持続可能 な未来づくりには教育が欠かせないと考えています。

たとえば、教育の機会を得られず読み書きや計算が できないと、生死にかかわる危険に遭うことがあり ます。また、就業の機会も限られ、貧困から抜け出 すことが難しくなります。

このような連鎖を食い止めるために、すべての人に は学ぶ機会が必要です。

シャンティはゴール4「質の高い教育をみんなに」の 達成に向けて本を通した教育文化活動を行っていま



◆SDGsと図書館

図書館はSDGsを達成するための、重要な機関 の一つです。

目標16「平和と構成をすべての人に」に明記さ れた情報への公共アクセスの確保により、人々 が情報を活用して必要な知識を得ることで、生 活を向上させることができるようになります。















提供可能な広報素材



シャンティをご取材いただく際に、ご提供可能な広報素材をご用 意しています。ご入用の際には広報・リレーションズ課までお問 合せください。

◆データ・資料

各資料は下記よりご確認いただけます。

- ●プレスリリースなど、シャンティからのお知らせ https://sva.or.jp/topics/
- ●年次報告書 2020年度版 https://sva.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2021/11/areport2020.pdf
- ●シャンティ関連図書 https://sva.or.jp/publication-category/svabooks/
- ●そのほか出版物 https://sva.or.jp/outline/#publication



◆写真提供

各国の写真をご提供可能です。ご相談ください。

















各種SNSでも最新情報をお届けしています



https://www.facebook.com/ShantiVolunteerAssociation



https://twitter.com/sva 1981



https://www.youtube.com/user/svapr5

